

平成 14 年度インターンシップの実施報告

インターンシップ委員会

野澤 智, 杵渕 友子, 藤本 孝一郎

和田 美知子, 渡辺 透

1. はじめに

城西大学女子短期大学部では、開学以来経営学科秘書専攻 1 年次の学生に必修科目として『企業実習』を課してきた。平成 13 年度の学科改組以降、名称を『インターンシップ』とし、経営情報実務学科 1 年次生の必修科目としている。ここに、平成 14 年度インターンシップ実施の概要と実施後に行われた学生アンケートの集計結果について報告する。

今年度のインターンシップは、計 4 回の事前指導およびガイダンスの後、平成 15 年 2 月 3 日（月）～7 日（金）にかけての 5 日間実施された。（ただし、一部実習先で 2 月 4 日（火）～10 日（月）に実施。）今年度は、近隣 6 市の市役所、銀行・保険・証券 6 社、建設・製造 3 社、情報・サービス等 11 社のご協力を得て、63 名の学生が実習に参加した。学生たちは受け入れ担当者各位の懇切丁寧なご指導のもと、大過無く実習を終了した。

入学直後から様々な形で学生の職業意識の啓発に努めてきた結果、学生はインターンシップに対する高い目的意識を持って実習に臨めたようである。後述するが、実習終了後の学生アンケートの集計結果を見ると、働くことの意義や自分自身の適正・欠点を発見し、今後の就職活動に向け、職業意識をさらに深める効果が大きかったように思われる。

2. 平成 14 年度インターンシップの概要

I. 趣旨

経営情報実務学科の教育の一環として、インターンシップを行う。インターンシップとは、学生を企業・団体・官公庁等（以下、企業等という）に派遣し、その業務の一部を実習させることをいう。とくに、短大で習得した知識・技能・マナーなどを実際の職場で経験することによって自己の長所や短所を知り、将来の職業人としての活動に役立てることがねらいである。

Ⅱ. 実習条件

勤務時間	受け入れ先始業時～終業時
給 与	無 給
服務規律	受け入れ先の指定に従う
業務上災害	本学，学生において処理する

Ⅲ. 単位の認定

実習を修了したのものには，科目「インターンシップ」2単位を認定する。

Ⅳ. インターンシップ参加学生

経営情報実務学科1年生，合計63名

Ⅴ. インターンシップ受け入れ先

26社（市役所・団体を含む）

Ⅵ. 実習期間

平成15年2月3日（月）～2月7日（金）

3. インターンシップの実施日程

本学では，後期に『オフィスワーク演習』を必修科目として開講しており，挨拶，お茶だし，電話対応，接遇などのビジネスマナーについての演習を行っている。さらに，インターンシップのための事前指導およびガイダンス等を下記の日程で行った。

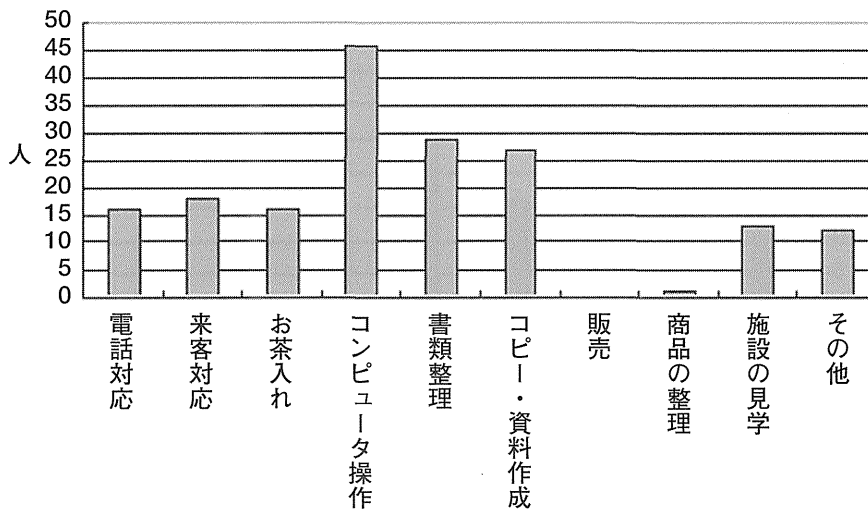
- (1) 第1回ガイダンス7月5日（金）インターンシップの概要説明
- (2) 第2回ガイダンス10月16日（水）実習先希望調査の提出
- (3) 一言PRの清書11月6日（水）
- (4) 第3回ガイダンス12月4日（水）インターンシップ日誌などの配布
- (5) 実習先の発表12月10日（火）
- (6) 第4回ガイダンス1月10日（金）実習先についての詳しい説明
- (7) 実習先への事前訪問1月下旬
- (8) インターンシップ実施2月3日（月）～7日（金）
- (9) インターンシップ実施期間中に担当教員が実習先企業を訪問
- (10) 実習終了後，実習先に礼状・事務室宛にアンケートを郵送
- (11) インターンシップ検討会・懇談会の開催3月5日（水）

4. 学生アンケートの集計結果

実習終了後に、以下の10項目についてのアンケート調査を行った。ここに、その集計結果を報告する。(参加者63名全員が回答した。)

(1) どのような仕事をしましたか。主なものを3つまで選んでください。

集計結果を図1に示した。図1から明らかなように、コンピュータ操作による資料作成や書類整理など、補助的業務がその中心であることがわかる。また、かなりの実習先で施設の見学を行っており、企業の学生に対する教育的配慮の深さがうかがえる。図1でその他の内容は、経理事務、発注、資料の発表、押印、外回り、イベント参加、ウェイトレス、客室の掃除・ベッドメイク等であった。



図一 1 実習中の仕事の内容

(2) 実習を通してどのようなことを学びましたか。主なものを3つまで選んでください。

集計結果を図2に示した。図2から明らかなように、「言葉遣い・マナー」はもちろん、「責任感」や「働くことの厳しさ」など、座学では学び得ない重要なことがらを体験している。図2でその他の内容は、企業内の知識、株のしくみ、サービス性、コンピュータの知識等であった。

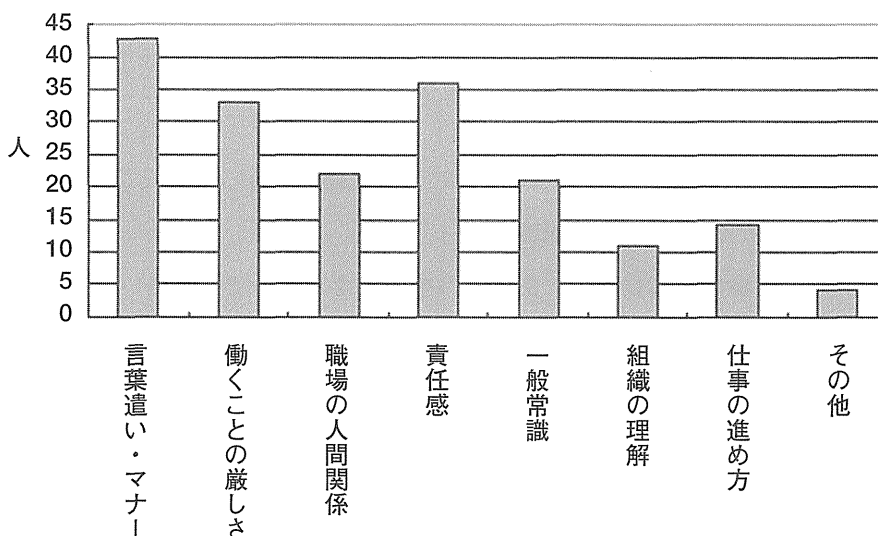


図-2 実習を通して学んだこと

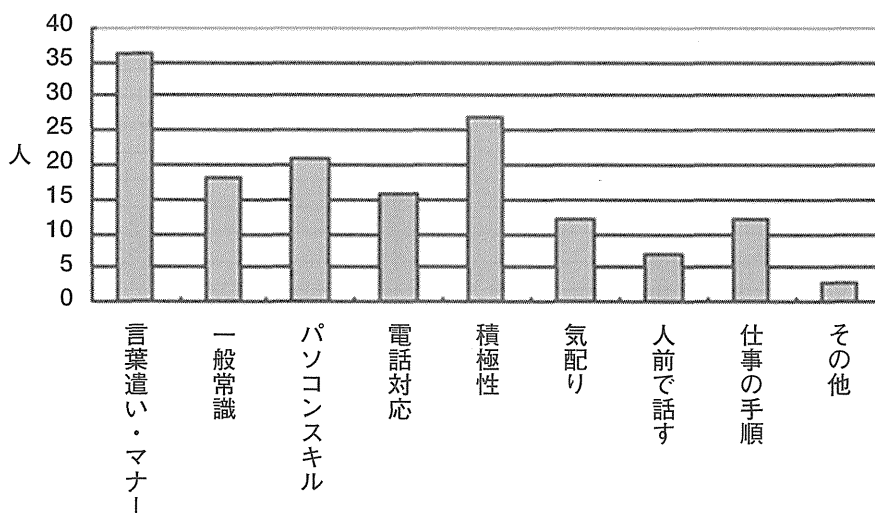
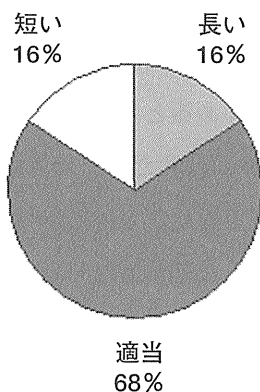


図-3 自分の問題として気づいたこと

(3) 自分の問題として気づいたことは何ですか。主なものを3つまで選んでください。

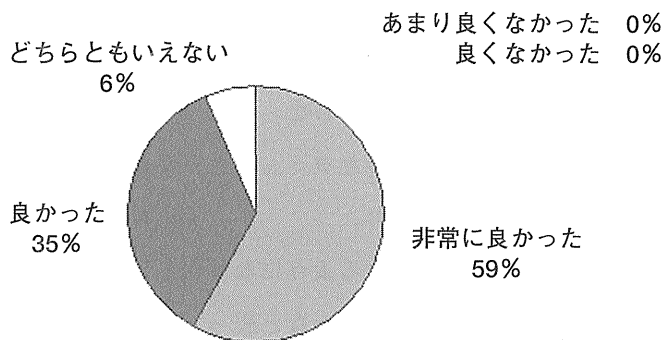
集計結果を図3に示した。多くの学生は「言葉遣い・マナー」が非常に弱いと感じている。また、約半数の学生が、自分の「積極性」のなさをあげている。インターンシップの目的の一つは自分の長所や短所を発見することでもあり、このインターンシップを通して、各自の弱点を直してほしいと願っている。図3でその他の内容は、とっさの対応ができない、質問にすぐ答えられない、てきぱきと行動できない等であった。

(4) 実習期間（5日間）は適当だと思いますか。



図－4 実習期間について

(5) インターンシップを体験してよかったと思いますか。



図－5 実習を体験してよかったか

(6) 「働くということ」について、実習の前と後では考え方に変化がありましたか。

- ・実際に実習をしてみて、やはり言葉遣いやマナー、コンピュータなどの一般的なことがとても大切なものだと思います。しかし、それと同時に自分に任された仕事を終えた時は達成感をとても感じました。(多数)
- ・アルバイトとは違ったかたちで実社会の現場で仕事をしていると、責任感をとても重く感じました。(多数)
- ・実際に職場で働いて、働くことの厳しさや大変さがとてもよくわかった。(多数)
- ・実習前は働くということを少し軽く考えていたように思います。一つひとつの行動に

責任を持たなければいけないと思いました。(多数)

- ・実際に働くまでは厳しいということしか考えていなかったが、実習をしてみるとそれだけではなく、助け合ったりという人間関係を学ぶことが出来、働くことは厳しいだけでなく、楽しいこともたくさんあると考えるようになった。
- ・実習前はやはり働くということは大変だし、めんどろな事だから嫌だなあとか思っていなかったけれど、実習で働くことは楽しいことでもあると知りました。
- ・インターンシップ前は「仕事はしなければならないもの」のように考えていましたが、現在では「自分から率先して、自らを成長させるためにするもの」になりました。
- ・早く社会に出て働きたいと思いました。働くことは大変だけど、カッコイイと思いました。
- ・今まで全く見えなかった自分の欠点をあらためて考えさせられました。
- ・考えることや学ぶことが多くあることを知った。ただ仕事をこなすだけではないと思った。
- ・どんなに楽しそうに見える仕事であっても、大変なのはどれも一緒だということ。
- ・私にとって身近なものになりました。
- ・実習を終えて、会社の人たちとコミュニケーションをとるには積極的に挨拶をすることが一番大切だと思いました。
- ・周りに気を配れるよう努力するようになりました。
- ・今までは私に仕事がかなせるのかなと思っていたけれど、がんばれば楽しくやっつけそうな気がした。

(7) 実習先でお世話になった方、指導していただいた方に対して感じたことを書いてください。

- ・迷惑かけてばかりでしたが、初日からとても親切に指導していただいたので、感謝しています。(多数)
- ・わからないこともすぐに教えてくれたので、とても良かったです。みなさんととても親切にしてくれたので、仕事もがんばれました。(多数)
- ・一つひとつ丁寧に親切に教えていただきました。(多数)
- ・就職に関するアドバイスをしていただいて嬉しかったです。(多数)
- ・本当に色々教えてくださってありがとうございました。(多数)
- ・私が行った実習先はとても忙しくて大変だったのに、とてもやさしく親切に指導して

下さってとても良い印象を受けました。

- ・私は接客の経験がなく、一から接客について教えてもらいました。みなさんととても親切な方で、吸収したものが多かった気がします。
- ・私のあの人たちのようにスムーズに作業することが出来るよう目標にしていきたくと思いました。
- ・自分のやらなきゃいけない仕事もあるのに本当に時間をかけて説明していただいたので、感謝の気持ちでいっぱいでした。
- ・ホテルの仕事のことだけでなく、社会に出る上で必要なことなどをアドバイスしてもらってよかった。

(8) インターンシップで経験したことや学んだことを、今後の学生生活にどのように生かしていきたいと思えますか。自分なりの課題や目標もあげてください。

- ・自分の言動に対して責任が持てるように、これから先も頑張っていきたいと思えます。
(多数)

- ・言葉遣いやマナーがまだまだ不器用で、変な敬語になってしまいました。日頃の日常生活から見直さなければならないと思えます。(多数)

- ・一般常識や社会に必要な知識が足りないので、勉強していきたいです。(多数)

- ・パソコン操作が完璧でなかったなので、もっとパソコンの勉強をしたいと思えます。
(多数)

- ・この実習で時間の使い方が大切だと思えました。これからは、時間の割り振りが出来るよう頑張りたいと思えます。

- ・コミュニケーションの大切さを学びました。

- ・インターンシップでは1日も休まず行け、続けて行くことを学んだので、学校も休まずに行きたいです。

- ・友達と目上の人との態度をきちんと区別していきたい。

- ・あまり積極的に何事も出来なかったなので、これからの課題にしていきたいです。

- ・毎日、新聞を読もうと思えました。

- ・働くことを考え、社会に目を向けるようにしたいと思えました。

- ・簡潔に相手に伝える努力をしたいです。

- ・自分のこれからの進路をよく考え直したいです。

- ・インターンシップ中に風邪をひいてしまい、仕事に集中出来なかったなので、1つの課

題としては、健康管理です。

(9) 実習前のガイダンス、実習先の振り分け等について、意見があれば書いてください。

- ・無回答または、特にありません。(多数)
- ・実習先の振り分けは良かったと思います。(多数)
- ・ガイダンスも先生達の熱心さを感じました。
- ・礼状について説明が良くわからなくて困りました。
- ・実習先が遠いので、交通費の負担が大きいです。
- ・ガイダンスには問題はないと思います。ただ、振り分けの条件をもっとしぼってくれば良かったと思います。
- ・もう少し自分の将来就きたい仕事に似た実習先があれば、そういう所へ行けるようにしてほしいです。
- ・自分の希望した所で働けないのは辛い。
- ・多分、自分の希望の実習先に行けなくて遠い所になってしまう人もたくさんいると思いますが、それはそれでいい経験になると思います。
- ・実習先の決定は自分の希望通りではなく、まるっきり考えていない会社であったのですが、それがかえって知らない色々な事を知ることができて良かったと思いました。

(10) 来年度、インターンシップに参加する後輩へのアドバイスを書いてください。

- ・敬語やマナーを勉強してから行くといいと思います。また、普段から大きな声であいさつする習慣をつけるといいと思います。(多数)
- ・実習に行くと必ず得るものがあります。挨拶と返事をきちんとしてがんばってほしいです。(多数)
- ・インターンシップに参加してマナーや一般常識を身につけることが出来、自分の足りない部分もわかるので、これから何をしなくてはいけないのか考えることが出来てとても良い勉強になります。(多数)
- ・はじめは「5日間は長い」と思ったりもすることはあると思いますが、後になると、このインターンシップで学ぶべきことや働いてみて分かることがたくさんあるので、とてもいい体験になると思います。(多数)
- ・実際の職場に出ると「オフィスワーク演習」でやった事の大切さがわかりました。(多数)
- ・自分から積極的にどんどんいった方がいいです。(多数)

- ・ マナーや言葉遣いやパソコンスキルも大切ですが、積極性を持つことが、今は一番大切だと思います。(多数)
- ・ パソコンをしっかりと身につけた方がよい。(多数)
- ・ 1つでも多くの事をインターンシップ先で学んできて下さい。私は行って良かったと思います。
- ・ 仕事を通して、働くという大変さはもちろん、人間関係や言葉遣い、大人の方の考えがたくさん聞ける場です。それを少しでも自分のものに吸収してもらいたいと思いました。
- ・ 5日間続けての研修なので、健康管理には気をつけた方がいいと思います。